2026 年 4 月 19 日
昭和シェル社友会　関西支部

社友会関西支部／観劇会の報告

1.開催日時：2026 年 4 月 10 日（金）16:30～20：30
2.開催場所：天満天神繁昌亭
3.参加人数：8 名（松村・木村勤・小林・高・水野・横山・国沢・葛野）
4.天候：曇り　最高気温 21℃（朝から大雨でしたが、昼から曇り）
5.開催内容：「桂 福團治一門会」

桂 福團治師匠の一門勢揃い興行でした。
午後 4 時半に集合し、まずは天神橋筋商店街の町中華で腹ごしらえです。
中々美味しい料理にて、茹でピーナッツとザーサイに始まり餃子・春巻・鶏唐揚げ・青椒肉絲青菜のニンニク炒め等で、必然的にビールとハイボールの量も進んでいきます。ほろよい気分で一行は、再度繁昌亭に入館です。
入場が遅かったので、1 階席と 2 階席に分かれて着席し、すぐに高座は開始です。前半 5 人の出演があるも、ビールが効いてうつらうつらで聴いておりました。上手い落語は、聞き手には気持ちが良いので寝てしまうそうです。
流石に仲入り後は、桂 文福さんの「いい声でしゃろ!」に目も冴えて、しっかり落語を楽しむことができました。真打ち福団治師匠のお噺は「寿命」でした。最後まで聞き入るしんみりとしたお話しでした。

桂福團治師匠の「寿命」のあらすじについて(水野支部長)

① 発端；大阪の長町裏に住む水売り源兵衛は、得意先の家で「お嬢さんの病気の具合は？」と聞くが、あまりよくないようだ。「どこかに」『寿命』があったらお嬢さんの命を助けられるかも」と考えた源兵衛は仕事をやめ、「寿命」を探して歩くが一向に見つからない。そのうちに「そういうものを信州で見かけた」と小耳に挟み、信州へと向かう。
② 中間；３年の月日が流れ、路銀も底をつき、源兵衛はボロボロになりながらも信州の墓場に辿り着きます。
③ 結末；腹をすかしてお地蔵さんにすがる源兵衛の前に、何かを見つけるといった展開で、欲に目が眩んで「寿命」を探すという滑稽の話。

登壇順は、以下の通りでした。

1. 桂 福留「大安売り」
2. 桂 福点「せんきの虫」
3. 桂 福龍「カナディアン漫談」
4. 桂 福矢「野崎詣り」
5. 桂 福楽「夢の酒」

＜仲入り＞

6. 桂 文福「相撲甚句」
7. 桂 福丸「稽古屋」
8. 桂 七福「千早ふる」
9. 桂 福團治「寿命」





文責／写真：葛野厚志

以下は水野支部長と桂 福團治師匠との馴初めです。

１，桂　福團治の紹介　（芸能人生 66 年目）

■芸名；桂福團治（かつらふくだんじ）■本名；黒川　亮　（85 歳）

■生年月日；1940 年 10 月 26 日　　■出身地；三重県四日市市

■入門年月日；1960 年　三代目　桂 春団治 に入門

■1973 年；四代目　桂福團治に襲名し・・「これからは人情噺に力を入れたい」と福團治は言い、「ペケペン落語」などで売り出した。が、放送中止となり・・・その後、福團治流の人情噺、十番勝負「蜆売り・百年目など」で有名な噺家です。

２，桂 福團治師匠、一門会の系図　（三代目、桂春団治の四代目の師匠）

弟子の系図；①福楽　②さん福　③丸福　④福車　⑤福若　⑥福六　⑦七福　⑧福矢　⑨福丸 ⑩福点　⑪福龍（カナダ人）　⑫福留

３，小生水野と桂 福團治／一門会との関係の経緯について

小生は 1994 年 4 月 1 日、昭和シエル札幌支店付き宮本石油から出向が解かれ、大阪支店販売促進課長に着任しました。業務引き継ぎ時に支店と関係していた朝日放送の世間で、有名な「乾アナウサー／奈良県出身」を紹介して頂き、又、同アナウサーは当社の奈良県で、中手特約店寺川石油社長とも密な友人関係で、同特約店のゴルフコンペの司会役にも活躍しておられ、小生も参加させていただきました。

翌年、1995 年 1 月 17 日（火）5 時 46 分阪神・淡路大震災が発生し、同時期に当社、商社系列企業の SS 店で「灯油のフリー購入客に対しガソリン」を販売し、暫くして販売担当が「誤給油」に気が付き、当支店に緊急連絡を入れてきました。

小生は即刻、緊急対策として、「朝日放送の乾アナウサー」に緊急性の要件を頼み、朝日放送では自家用ヘリコプターを用意してくれて、「当該エリアで購入されたお客様に使用しないよう」空からの緊急報道をして頂き、無事大惨事にならなく解決いたしました事を未だに、同放送の「乾様」に感謝しております。

その後 1997 年販売促進から販売 1 課に移動し、1999 年「大阪シエルパック出向」⇒「ペトロスター関西出向」を勤め、満 61 歳（1 年延長）で退職をいたしました。

そして、ここから桂福團治師匠と一門会との繋がりの初め

2005 年退職以前に、起用していた「ホームネット㈱」（SS で車の販売ができるシステムの提供）」企業から誘いがあり即刻、営業担当顧問として、全国知り合いの企業に営業拡張に努め、現役仲間のご協力も得て全国展開ができました。

又、以前 SS での人手不足から起用していた「人材派遣会社社長」との付き合いも親しく同社の紹介も行い、「ウィンウィン」の関係上、お互い業績は向上していました。関係も

密になり、月に何回となく、派遣会社社長と情報交換をするため、双方共自宅近隣の光明池の「岬すし店」で飲食していました。ある日、「岬すし店」で福團治師匠の落語会が開催されている時に重なり同席しました。この寄席は元「朝日放送の乾アナウンサーと同じ同局ディレクター」が発足したことを知り、同時に元アナウンサー乾さんに会い、過去の震災でお世話になったお礼を云い、同アナウンサーから、福團治師匠の紹介をして頂き、開催の都度、拝聴し飲食と親睦を深めました。

小生も退職以前・以後ともお酒を好み、現役時代後も常飲している西田辺の「舶来場バー」に通っていた時（今から15年前）同店で、バッタリ福團治師匠に会いお互いビックリし、又、親しく飲み明かしました。同店でも福團治師匠のファンが多く、同店オーナーと常連客と意気投合して「桂福團治をヨイッショする」会を発足しました。小生も顧問をさせられ、応援を続け、又、今日の社友会関西支部の観劇会で応援をしているところです。

文責　水野支部長